

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和4年度第2回伊勢崎市公民館運営審議会
開催日時	令和4年9月29日(木) 午後14時00分～15時40分
開催場所	赤堀公民館、境采女公民館
出席者氏名	「委員」20人(欠席10人) 菊池章行委員、伊平むつみ委員、五十嵐うた子委員、 島田悦子委員、大谷和江委員、井上哲男委員長、岩崎光雄委員、 川野忠夫委員、久保田秀子委員 藤生幹雄委員、定方信子委員、 石関啓子委員、柳 和子委員、新井春枝委員、横澤克明委員、 八幡武夫委員、品川直紀委員、荻原孝夫委員、久保田泰良委員、 設楽浩司委員 「事務局」8人 新井生涯学習課長、常見施設管理係長、木内係長代理、糸井主査 中田三郷公民館長、和佐田境剛志公民館長、齋藤赤堀公民館長、 茂木境采女公民館長
傍聴人数	1人
会議の議題	1、開会 2、委員長挨拶 3、議事等 (1) 公民館の視察(見学)「赤堀公民館、境采女公民館」 (2) 施設概要等について (3) 質疑等 4、閉会
会議資料の内容	・次第 ・赤堀公民館概要等 ・境采女公民館概要等

会議における
議事の経過
及び発言の要旨

- 1、開会 事務局
- 2、委員長挨拶
- 3、議事等

(1) 赤堀公民館視察(P M2:00～ P M2:40の40分)

①施設の見学

②施設概要等について

赤堀公民館長から資料により説明

③質疑等

委員： 災害時における危機管理は公民館主体でやるのか、管轄が別なのか。

事務局： 地震・台風などの災害は、安心安全課が担当している。市内に指定避難所となっている施設があり、それぞれ市の職員が担当で配置されている状況である。基本的には災害の対応については、安心安全課が主導権を持って対応している。

委員： どういうところが、地域の特性なのか。また、新しく赤堀地区に入ってきた人との繋がりはあるか。

事務局： 赤堀大学塾という赤堀地区独自の講座があり、地元の人を講師にして、教える人と教わる人が全体でまとまって活動しているところが地域の特性である。また、今回初めてレクリエーション祭を開催したが、親子、若い世代、新しく入ってきた人に参加してもらうことができ、ボランティアで老人会やグラウンドゴルフ協会等に参加してもらい、隔たりなく実施することができた。

委員： 赤堀大学塾として、計画的にいくつも講座を実施していて、中学生がボランティアで指導者として参加していることは素晴らしいことだと思う。

(2) 境采女公民館視察(P M3:00～ P M3:40の40分)

①施設の見学

②施設概要等について

境采女公民館長から資料により説明

③質疑等

委員： 子どもの部屋運営事業は大変有意義なことだと思うが、現在来館する子ども達は何人くらいか。

事務局： 登録している人数は33人であり、毎日15人前後が利用している。

委員： 小さい子どもに対しても公民館職員が読書を勧めているところを見て、公民館職員が一生懸命に地域の人たちと子育てをしようという姿勢がうかがえてうれしかった。